

## 経済政策のポイント（まとめ）

- （言葉の説明）乗数効果（財政支出を考える時には常にこの点についての意識が必要）  
一定の条件下において有効需要を増加させたときに、増加させた額より大きく国民所得が拡大する現象である。国民所得の拡大額÷有効需要の増加額を乗数という  
\*追加：フローとストック（財サービスインフレと資産インフレ＝バブル）  
\*追加：生産の三要素（土地、労働力、資本）⇒よくわからないのは「資本」

### 税財政政策の問題

- （1）財政支出の内容が国民生活支援とは無縁 ⇒ 昨今では劣化して害悪化
- （2）財政赤字のリスク（負債マイナス処分可能資産＝純負債で考える）は、当面はストックベースよりも無責任に2桁兆円の赤字を累積するフローにあり
- （3）税収構造（歳入構造）の根本的欠陥＝減税および不作為のやり過ぎ
  - \*税金を払わない大企業 法人税
  - \*税金を払わない富裕層 所得税＋相続・贈与税
  - \*税金を払わない非居住者・外国企業 法人税（所得税）（上記のベースにタックスヘイブンあり）

### 金融政策の問題

- （1）マイナス金利を含む異次元緩和＝黒田バズーガは効果がないどころかマイナスではない（早くやめて出口政策を探るべし＝やっかい）
- （2）日銀資産の膨張（資産サイドに国債、負債サイドに銀行預かり金）は将来の時限爆弾（異次元緩和の潜在的リスクの1つは、巨額の銀行預かり金にあり）
- （3）日銀による国債買いオペは事実上、アベ政権のデタラメ財政政策のファイナンス
- （4）公的年金基金と日銀による株式等リスク資産の巨額購入は最悪の政策（ここに日本経済を破綻に追い込む最も大きなリスクがある）
- （5）狙われる郵貯・簡保と農協貯金

### 経済政策の問題＝すべてを象徴するのがIR（カジノ）＝博打場

デフレ経済下での市場原理主義アホダラ教政策で有権者・国民が経済的に疲弊  
一握りの20世紀型老朽化産業の巨大企業や一部富裕層・特権層のための経済政策  
政治家たちが「ゴミ化」する中、霞が関官僚たちの政策能力の低下・行政の劣化が著しい  
依然として止まらない土建国家（道路、港湾、ダム、新幹線/リニア、ハコモノ、巨大イベント）  
TPP協定、日欧EPA、日米FTAという国際市場原理主義条約でがんじがらめ  
住宅・生活関連、環境関連、地域経済、農林水産業、エネルギーなどが、このままでは窒息  
社会保障の持続可能性の最大のポイントは「ロスジェネ世代」の正規職員化

### 外交・安全保障の問題

日米密約同盟の正体は、日米地位協定・日米合同委員会と在日米軍駐留経費負担にあり  
対米隷属のまま戦争する国へ（沖縄南部・台湾周辺での米中限定核戦争の可能性あり）  
自衛隊は改組だけでなく民主的教育が必要（潜在的危険性）＝幹部総入れ替えが可能か？

### 人類を滅ぼす5つの危機

- （1）2つの核＝原子核（原発・核燃料サイクル施設 & 核戦争）
- （2）2つの核＝細胞核（遺伝子組換えからゲノム編集無政府主義へ）
- （3）化学物質の氾濫（環境ホルモン、プラスチックスープの海、毒物パラダイス他）
- （4）化石燃料の大量消費と地球の酸性化（地球温暖化については???)
- （5）熱帯雨林の破壊や深海底開発、北極海・南極開発などによる地球規模の環境破壊